

# 岐阜県の プラスチック

- ・『新春講演会』『新年互礼会』を金型工業組合と合同開催
- ・講演要旨紹介『こころ元気に…職場コミュニケーション』
- ・金型はものづくりの原動力…岐阜大学金型研究センター紹介
- ・『ブロー成形』の実技検定試験を実施
- ・新年度総会は5月21日（月）に開催

大垣で合同開催した新年初行事『講演会』



新年初行事・今年も金型工組と合同で開催

## 『講演会』 不況の年こそ職場に元気を

### 両業界が手携え危機を乗り越ろう 『互礼会』

岐阜県プラスチック工業組合と金型工業組合は1月17日午後、大垣市内にあるロワジュールホテルで新年初行事『新春講演会』と『新年互礼会』を開催した。関連する両業界は「手携えて依然、厳しい中小企業の経営環境を切り開こう」と今年も合同で開催した。

岐阜市に在住し、産業カウンセラー活動をする鎌田敏こころ元気研究所長から『こころ元気に！』をテーマに「不況の時こそ職場のコミュニケーションを図り、職場に元気を取り戻そう」と職場環境元気策の講演を聞いた後、互礼会で懇談・交流した。



不況の時こそ職場に元気を…と話す鎌田講師

### 「経営に勇気を出して欲しい」

新春講演会は日比勝次プラスチック工業組合副理事長が「地震、津波、原発事故に続くサプライチェーンの寸断で社会も経済も暗く混沌とした世情が続く中“なでしこジャパンの優勝”は人々に大きな勇気を与えてくれました。迎えた新春講演会では、講師の鎌田先生から経営に勇気の出る話を聞けると思います」と開会あい



大垣市で開催した『新春講演会』に参加したプラスチック工業組合と金型工業組合の組合員



さつし、開始された。

続く新年互礼会は「来賓、賛助会員それに両工業組合の百人近い組合員が参加して新年行事を開催できたことは、組合と業界の将来に大いに役立つと思う」との、秋田金型工組理事の開会の辞に続き、両理事長の新年あいさつで始まった。

## 技術と人材育成が決め手

— 児玉栄一理事長の新年ごあいさつ —

プラスチック工業組合の児玉栄一理事長は「今日の講演の中で鎌田先生は“トップはネガティブな話はするな”といわれたが、そのとおり実行すると話すことは何もありません。このような不透明な経営環境の中、新年早々に顧客を回ってみると厳しいけれど“国内工場を強化する”や“海外工場も必要だがやはりマザーファクトリーは日本国内。新年はここを強化する”“最先端の製品作りは日本でやるんだ”との力強い話を聞くことができた。

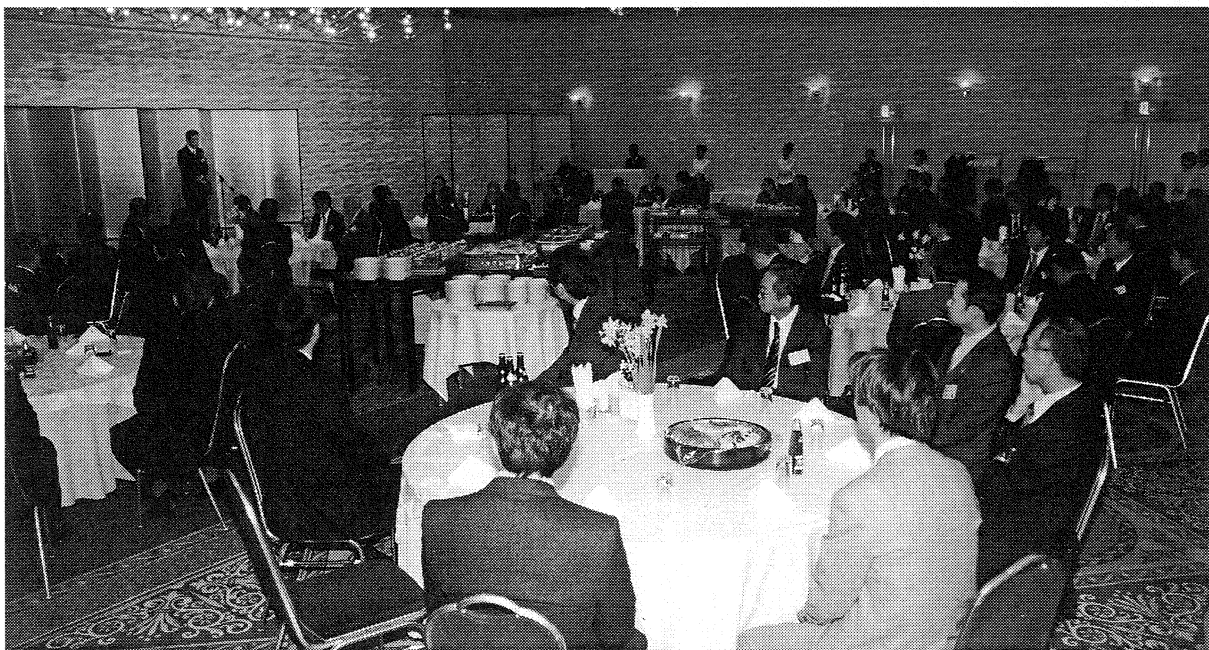
「国内工場の強化といっても中小企業にとっては、現実に寸切りという厳しい要求が待ち構



年頭あいさつした児玉理事長

えている。それには要求されるコストと品質に対応するものづくりを構築することが何よりも大切です。今日の経済同友会でこれからの岐阜県産業は航空機産業を中心に据えたハイテク産業を育てていく方針が示され“それには先ず人材育成が重要”と結論されました。国内工場を強化するにも、海外進出するにしても日本でのマザーとなる技術に磨きをかけ、体制づくりをすることが肝心なことで、それを形作る決め手はやはり人材です」と話し、

「今後の組合運営も技術と人材育成に焦点を当て、検定、研修、見学に力を注いで事業活動を展開していきたいので、関係各位のご協力を願いたい」と組合への協力依頼を述べた。

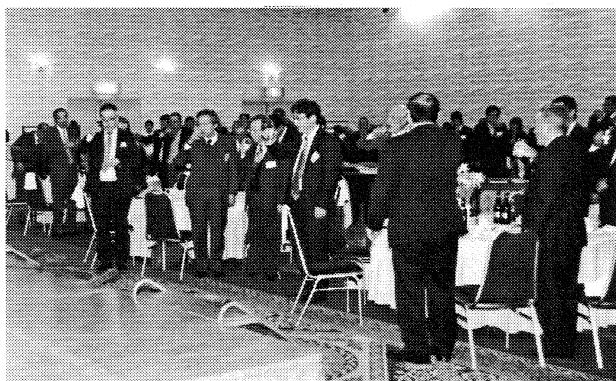


「新年互礼会」では来賓、賛助会員と両工業組合の会員がテーブルを囲んで交流・懇談した

## タイ現地視察を再度企画

— 金型工組の黒田隆理事長ごあいさつ —

金型工業組合の黒田隆理事長は「昨年、合同で開催した新年互礼会からもう一年。この一年間はリーマンショックによる不況から震災、津波に始まる内外の事変に大変苦労されたと思う。新年に入ったからといって明るい話はなく金型業界は現実を直視して対応していかなければなりま



服部産業技術センター所長の音頭で乾杯



講演会では鎌田講師の指導のもと職場のコミュニケーションづくりや絆づくりを体験

せん」と厳しい表情を見せながら、

「とくに円高が凍り付き、金型企業もますます海外進出に取り組みねばならなくなった。先日、トヨタは国内生産年間 320 万台体制を整え、そのうち中部圏では 250 万台生産するという。この発表を聞いて“金型や部品の地元発注が期待でき、その期待に応えるために金型業界は、技術の確立と体制作りが急務だ”と思った。自動車メーカーの地元発注を期待するなら個々の企業が、受注できる環境づくりと体制作りを進めることが生き残れる道だと感じた」。

「組合では将来を見据えた課題として海外進出を取り上げ、昨秋、タイへの視察を企画したのですが、折悪しくタイの大洪水に遭遇、中止しました。今日の動向からして海外進出は避けられず、現地視察を再度企画し、岐阜県金型業界の生き残りを図りたい」と言い切った。

## 来賓を代表し組合を激励

— 県の服部所長と岐阜大学の王教授 —

両工業組合理事長の年頭あいさつの後、新年互礼会は本番に入り、参加者はテーブルを回り交流と懇親を深めた。また席上、来賓紹介もあり服部清岐阜県産業技術センター所長と王志剛岐阜大学金型創成技術研究センター教授が代表して次のように激励のあいさつを行った。





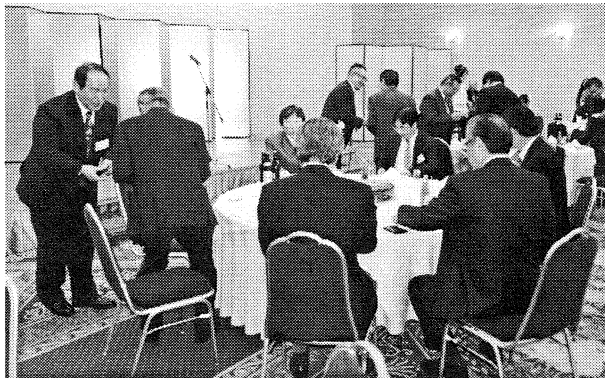
服部所長は「いぜん厳しい経済環境の中でプラスチックと金型業界が手を携えた合同事業の成果を期待しています。両組合の理事長の話にあったように今日の企業経営は大変難しいものがあり、産業技術センターあげて業界の役に立ちたい」と連携を強調した。

また王教授は「岐阜大学の金型創成技術研究センターは昨年5年間の事業を終り、新しい活

動体制に入ります。それは文科省のモデル事業として運営費が新年度予算に予算化され、さらに産業界から多額の寄付金があったからです。金型創成研究事業の再スタートが決まり、一層、学生の研究と創成への関心は高まっております。今後は業界へのアドバイスだけではなく、次世代に役立つ人材を育て、地元の金型やプラスチック業界へ送り出したい」と話した。



金型センターの新体制を話す王岐大教授



パーティー会場では来賓、賛助会員、両組合員がテーブルを囲み和やかに交流懇談

## 人間関係で始まり人間関係で終わる 「握手」と「挨拶」で職場空気換えよう

激動する社会経済の荒波を企業はどのように乗り越えればよいのか。工業組合は金型工業組合と合同開催した『新春講演会』で「不況時こそ職場のコミュニケーションを図り職場の元気を取り戻そう…」と、岐阜市在住の産業カウンセラー・こころ元気研究所長の鎌田敏さんから職場元気策を聞いた。その策は「握手や挨拶は心と心を近付ける」「相手の話は素直に聞く」「すべては小さなことの積み重ね」と話した。

### 握手は心と心の距離を近付ける

◎…新年互礼会は年初めの交流の場、弾みを付ける意味で、まずはウォーミングアップ。それはセブンジャンケン。普通のジャンケンをしてもらい、グーで勝ったらゼロ、チョキで勝ったら2、パーで勝ったら5で、勝是指の本数で決まり。回数を重ね合計が7になったら勝、終わったら握手し、どんどん相手を変えて握手した数を競う。

新入社員研修などでこれをやると、緊張感がすぐにほぐれ、会場は一気に和やかになる。簡単に言えばこれがコミュニケーションづくりです。コミュニケーションとは人の心と心の距離を近づけること。それにはきっかけが大切で、あいさつ、握手、いまのようなゲームなどと、ろいろ工夫すればよい。

### ありがとう、がんばれ…が大切

◎…企業では職場の空気づくりが大切で、単なる「おはよう」だけではなく、相手と目を合わせひと言付け加えること。これが職場全体に広がり空気は変わってくる。

皆さん料理を作りますか。食べた人が「おいしい」とか「うまい」と言葉を返せば作っ

た人は嬉しいものです。

職場で「ありがとう」の言葉を交わせれば雰囲気が変わり、仕事への対応や心のエネルギーが生まれてくる。この震災で盛んに交わされるのは「がんばれ」です。心理学者のアドラーさんは人の欲求の一つは「誉められること」といいます。時には叱咤激励も必要かもしれませんが「〇〇君がんばっているな…」というねぎらいの言葉、感謝の言葉こそ心のエネルギーを高めていくと思います

### 相手の話を素直な心で聴くこと

◎…「あいさつ」や「握手」から学ぶことは、人の集まる職場は「人間関係に始まり人間関係に終る」ということです。昨年の一文字は「絆」でした。職場の絆を高め、職場の元気を引き出すには「握手」をし「あいさつ」をし、話し合うことです。日常の話、趣味の話の聴くことですが「聞くのではなく、素直な気持ちで相手の話を聴く」ことです。

その場合、相槌の言葉が必要でうなづく言葉はハ行が良い。ハー、フー、ヘー、ホーとうなづくことになるが、ヒーは驚く悲鳴の言葉で良くない。互いに趣味からストレス解消法などと幅広く話し合い、自分の心をオープン





←熱弁する鎌田講師

しなければならない時もあるでしょう。経営者はその時「孤独な瞬間を理解し受け止めてくれる人がいたら…」と思うでしょう。自分の気持を受け止めてくれる人、それは奥さんであり親友であり

ンにし、相手に関心を持つうち、理解と共感が得られ、これがチームワークとなって礎が生まれ、ビジョンの共有へとつながっていく。ここに絆が生まれてきます。

### 職場内のメンタルヘルスも大切

◎…会場の皆さんに会話のキャッチボールをしてもらいましたが、趣味とは別にストレス解消やメンタルヘルス（精神衛生）の話が出たようです。心の健康を保つには脳を休め、脳の機能障害を取り払ってやる。方法は薬物ではなく睡眠、趣味、旅行などで、マンネリ化した生活から抜け出すこと。違う五感を使い日常と違う行動をすることです。

都会ではよく無縁社会といわれるが、職場でも同じこと。職場のメンタルヘルスに早く気付くことも大切です。誰もがしんどいことは嫌なので目を背けがちですが、まず相手に関心を持って接し、コミュニケーションのキャッチボールをするうち、理解が深まって、心の扉を開いてくれるだろう。

### 社員は経営トップの表情を見る

◎…経営者の方々は社内のコミュニケーションに気を配り、社員の中に入ろうとしておられることでしょう。同時に自分一人で決断

経営のパートナーで、日頃の絆づくりから生まれてくるものです。

社員は経営トップの表情を常に見ております。経営のトップは決断の時でも会社では暗い表情を見せてはいけません。暗い顔、暗い話の中では会社は少しも進みません。気分は空気感染するので、明るい話が多ければ多いほど、明るい空気を創り、職場の空気は盛り上がり、良い方向へ展開していくものです。

### すべては小さなことの積み重ね

◎…「積小為大」という四字熟語があります。江戸時代の二宮金次郎さんの教えを圧縮した言葉です。すべては「小さなことの積み重ね」という意味で、一人ひとりの小さなことも、まとまれば大きくなるので、何事も積み重ねが大切という積善の教え。現代風というなら、仕事も営業も健康もコツコツ実践すれば希望がかなう。要は何事も努力すれば実現するという考え方です。

最後に提案したいのは、ジャンプ・ワークです。互いに手をつなぎ、軽くジャンプをする。さらに気が揃った時点で合図無しにジャンプする。仕事も誰かがアクションを起こせば、取り組むモチベーションは高まり、職場元気は高まってくる。これが絆です。

# 金型はものづくりの原動力

## 岐阜大学・金型創成技術研究センター紹介 技術者養成の拠点

岐阜大学・金型創成技術研究センターは文科省の助成事業として5年間の人材創出拠点形成事業を終り、新年度からは文科省のモデル事業として新発足する。すでに工作機械メーカーをはじめ地元産業界の支援が決まり、産学官連携の新体制への期待は大きい。

### 研究部、実習工場、CAEで構成

金型創成技術研究センターは平成18年、岐阜県内自治体と地元金型産業界との連携で「金型技術の高度化・伝承を継続的かつ着実に実行し、創造的で意欲ある若手技術者の養成拠点」として岐阜大学に設置された。

センター施設は岐阜大学の学内共同教育研究支援施設として運営、4研究部（①金型材料・加工技術研究室②固相創形技術研究室③液相創形技術研究室④金型要素技術研究室）と技術部（①金型実習工場②コンピュータ・シミュレーションのCAE演習室）で構成している。

進めてきた人材育成内容は①学部四年生の金型設計製作の基本スキル修得②大学院博士課程の開発・設計能力の修得③社会人（金型経験者）を対象に専門知識の深堀とCAE技術活用



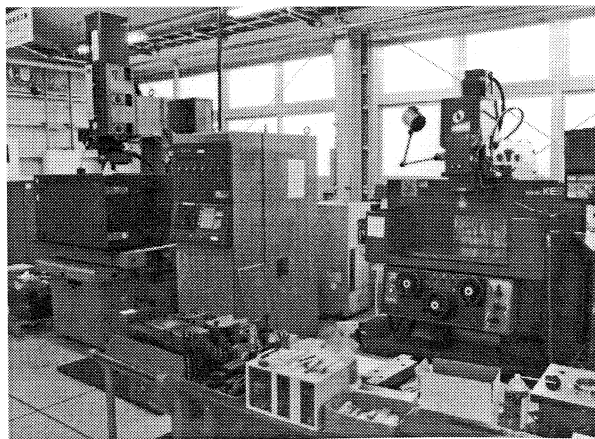
センターのPRポスター

能力の修得一をテーマに多くの人材を送り出してきた。他に一般社会人対象の短期講座も射出成形など4コースに分け、随時実施してきた。

### 新年度から新体制で再スタート

5年間の助成事業は昨年度で終わり、文科省から「設備はもとより地元関連業界との連携など6項目にわたって高い評価」を得たという。この結果、新年度からモデル事業として3年間延長実施が決まり、産業界からの寄付金や支援体制を得て、再スタートすることになった。

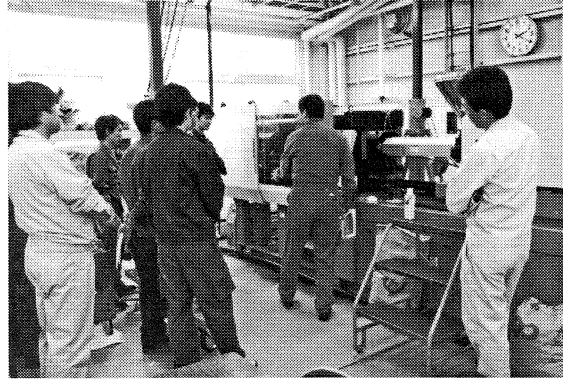
プラスチックと金型の両工業組合の新年互礼会に来賓として出席した王志剛センター副長は「文科省の補助と関連産業界の支援を得て、金型創成技術研究の再スタートが決まり、学生の研究と創成への意欲は高まっているので期待して欲しい」と新体制を報告した。



左から放電加工機、マシニングセンター、形彫放電加工機a、操作フライス盤が整然と並ぶ



C A E 演習室で設計実習する大学生



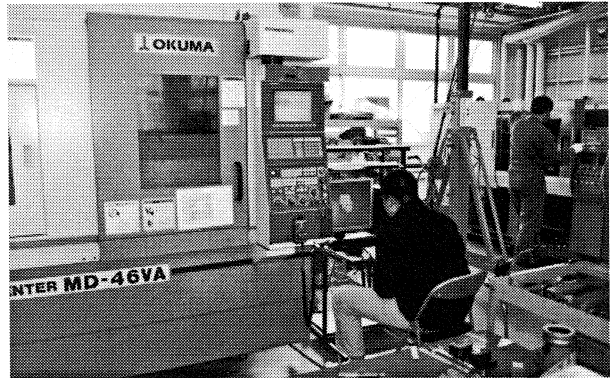
昨年実施した工組の初任者研修会

### 次世代に役立つ人材を送り出す

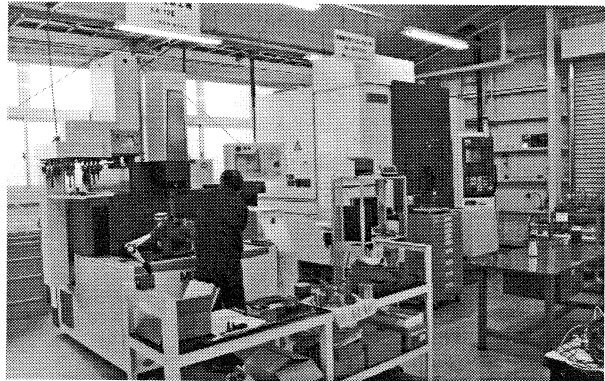
次にセンター実習工場に導入（多くは寄贈）された金型加工機を紹介すると。

- 電気式射出成形機
- 立形マシニングセンター
- ワイヤ放電加工機 a
- 同時4軸CNCジグ研削盤
- 成形平面研削盤
- CNC光学式精密倣い研削盤
- 形彫放電加工機 a
- 操作フライス盤
- CNC円筒研削盤
- ワイヤ放電加工機 b
- 形彫放電加工機 b
- 高精度立形マシニングセンター
- 他に乾燥機、温調機、圧縮空気供給装置

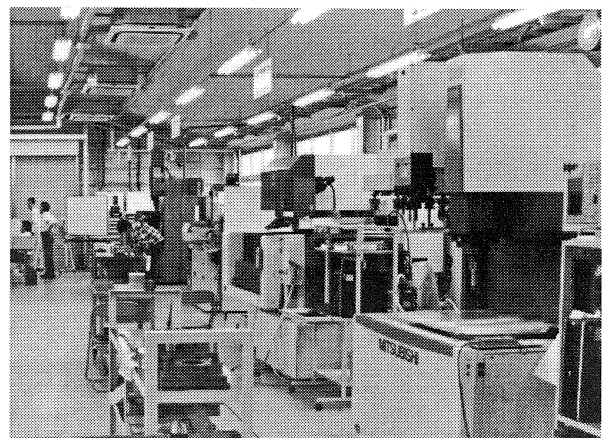
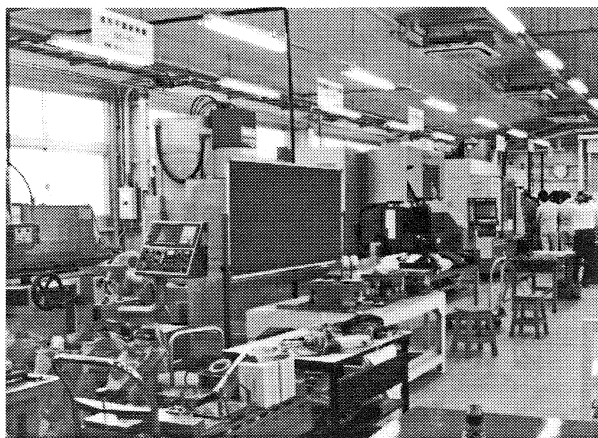
担当するセンター副長の山下実准教授は「最新のC A Eシステムや工作機械を駆使し、次世代に役立つ人材を一人でも多く育て、金型業界やプラスチック成形業界へ送り出したい」と意欲を燃やしていた。



最新のマシニングセンターを駆使する大学生



放電加工機を整備する研究室の担当者



左からCNC光学式精密倣い研削盤、成形平面研削盤、形彫放電加工機 b などの工作機械

## 『ブロー成形』の実技検定実施 コダマ樹脂工業の本社工場で

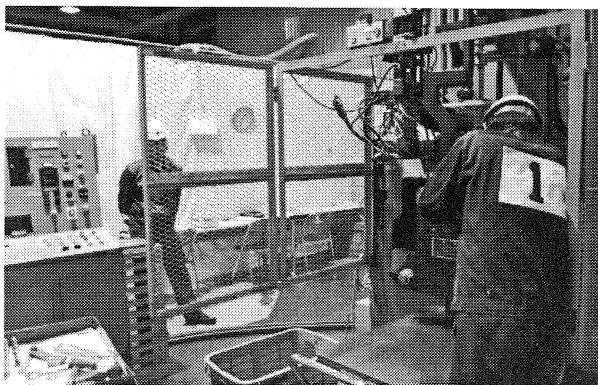
工業組合が岐阜県職業能力開発協会から受託した『プラスチック成形・ブロー成形作業』の実技技能検定は1月24日から4日間、神戸町のコダマ樹脂工業(株)本社工場で実施した。

受検者は1級2人、2級6人の合計8人。検定は午前と午後に分かれ、1日2人ずつ実施した。試験内容は1級が4時間以内に『ポリエチレンとポリプロピレンの2樹脂を使いブロー成形機で円筒ボトル各50個を成形』した。

また、2級は3時間以内に『高密度ポリエチレンかポリプロピレンと低密度ポリエチレンの2樹脂を使い円筒ボトルを各20個成形』した。

### 0.5グラムの微調整に苦心する

使用したブロー成形機は例年と同じ口径50mmの小型機種で、受検者は金型取付け→型締



ブロー成形機へ金型を慎重に取付ける

め調整、エアマンドル調整、ヒーター温度、スクリュウ調整などを順次行い高さ213mm×直径58mmのボトルを成形した。

課題の円筒樹脂をホッパーへ投入  
ボトルは『成形後の重量を30g $\pm$ 0.5g以内の精度』を保たねばならず、受検者は温度や圧力調整を繰り返し、成形ごとに計量器にかけ、真剣な表情で作業をしていた。

中には計量がうまくいかず、規定時間をオーバーしたり、樹脂使用量が規定を超えたりする事例もあるので、検定員と検定補佐員は目を光らせていた。

### 合格者の発表は3月13日(火)に

なお、実技検定の審査会は2月2日、学科試験は同5日(日)に実施し、3月13日(火)に合格者の発表がある。

『プラスチック成形用・金型製作作業』の検定試験は今年度見送りになった。

### ◎新規学卒者の求人提出先変更◎

これまで新規学校卒業者の求人提出はハローワーク岐阜(岐阜公共職業安定所)で受理していたが、4月1日から『岐阜新卒応援ハローワーク(ヤングスポット岐阜)』で対応すること

になった。新規学校卒業者以外の求人は、従来どおりハローワーク岐阜かシティハローワーク各務原で受理している。

岐阜新卒応援ハローワークは岐阜市藪田南のシンクタンク庁舎2階、岐阜人材チャレンジセンターに併設。 ☎058-278-4401。



# 新年度総会を開催 5月21日グランヴェール岐山で

講演会は朝日大学・山本英弘教授の『ちょきんの話』を聞く

工業組合は5月21日（月）に岐阜市内のグランヴェール岐山で『第44回通常総会』を開催する。総会スケジュールは午後4時に開会して議案審議の後、同5時から講演会、同6時10分から講師・来賓を交えて懇親会開催を予定している。

総会提出議案は①平成23年度事業報告・収支決算書案の承認②平成24年度事業計画書・収支予算案の議決③平成24年度賦課金及び納入方法案の議決④平成24年度取引金融機関及び借入金最高限度額案の議決—の4議案で審議の後、採決する。

講演会には朝日大学・山本英弘教授を講師に招く。

スポーツ生理学、健康体力科学などを担当する経営学部ビジネス企画学科の教授



で『ちょきんの話～寝たきり老人にならないために』をテーマに聞く。

「ちょきん」とは「貯金」のことではなく、年齢と共に減少する体の筋肉を蓄えようという「貯筋」の話で、山本教授は「経営者も筋肉トレーニングを行い、企業の先頭に立ち不況を乗り切ってほしい」と呼びかけている。

## タンクで世界をリード

組合青年部が本巢の森松工業(株)を見学

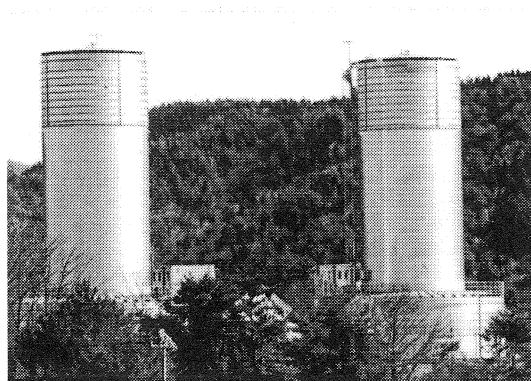
工業組合青年部は2月21日、中小企業団体中央会が実施した『森松工業見学会』に参加した。森松工業(株)（松久信夫社長、本社本巢市見延）はステンレス製各種水タンクの専門メーカーで、球面や円筒形タンクを自社開発し、国内シェアトップを誇っている。一方、20年前から中国事業を開始し、日本国内とは異なる大型圧力容器事業を中心に急成長を続け、従業員数でも売り上げでも利益でも、森松の国内5工場を上回る世界ビジネスを展開している。

見学会は本巢市曾井中島にある本巢工場で行われ、最初に西村今日子取締役海外事業部長から会社概況と中国などの海外事業について説明を受けた。西村部長は一昨年岐阜市で開催された『APEC女性起業家サミット』の日本代表パネリストで、中国事業は「女性の登用と能力の向上を図ったことが、事業拡大に大きな役割

を果たした」と成功理由を話し「中国は実力主義で、女性登用に当たり①機会を与える②支援する③偏見を持たない—などの女性をサポートするシステムづくりが大切」と強調していた。

中国森松グループは海外15社中11社、総従業員は日本国内5工場の約7倍3,500人。うち女性は管理部門で30%、営業・設計40%、研究22%、財務では88%も占めるという。

この後の本巢工場見学では、説明を聞きながら①球面パネル部品のプレス工場②自動倉庫③大型タンク部品のプレスとカッティング工場④航空機胴体や曲面のプレス—の施設を見た。



土岐市旭ヶ丘へ納品した新開発のタワー型配水池

## 事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

### □新年度の総会へ出席してください□

工業組合は5月21日（月）に岐阜市内のグランヴェール岐山で『平成24年度総会』を開催します。議事内容は前頁に紹介しましたが、講演会では朝日大学の山本英弘教授を招き『経営者に欠かせない筋力、筋肉量の必要性とトレーニング方法』を聞くことにしました。年齢と共に衰退する筋肉を老後へ蓄えておく貯筋方法を伝授してもらえます。

総会にご出席いただき、議題の審議はもとより、講演会、懇親会に参加して経営情報を入手してください。

### □前期技能検定の受検者を募集開始□

工業組合は平成24年度前期技能検定『プラスチック成形・射出成形作業』の受検者募集を

開始しております。工業組合への受検申請書提出は4月9日（月）までです。

これに合わせて工業組合は事前の説明会を開催しています。とくに『技能確認講習会』は毎年実施し好評を得ている事業で、検定機種の操作手順を再確認してもらう講習会です。昨年は35人の参加希望がありました。

技能検定関連の問い合わせは組合事務局へご連絡ください。

## 岐阜県のプラスチック 2012年 第207号

平成24年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号  
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大塚 忠秋

全てのニーズにお応えするJPP  
技術力で信頼にお応えするJPP

# Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

### バテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

### ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

### ニューコン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

### ニューストレン®

高い熔融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

### ニューフォーマー®

高い熔融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

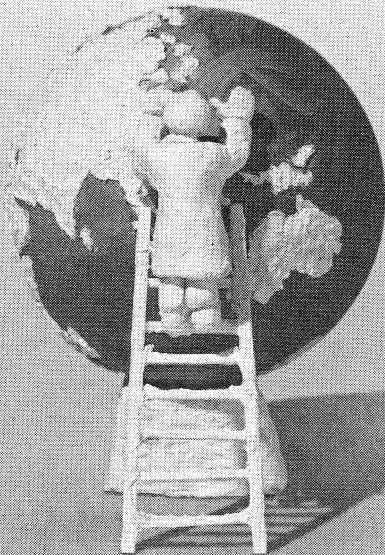
### ファンクスター®

射出及び熔融圧縮成形向け高性能ガラス長繊維強化ポリプロピレン

 日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

地球最適化研究所。



20世紀から持ち越されたさまざまな問題を解決し、トータルなライフステージを最適化するのが21世紀の化学の仕事です。三菱化学グループは、世界でも比類のない幅広い技術フィールドをカバーする先端技術多面体です。先端機能材料やナノテクノロジー、有機エレクトロニクス、デバイス。ヒューマン・ヘルスケアでは、ゲノム創薬やタンパク質機能解析…など、多数の分野にチャレンジしています。私たちはグループの技術力をベースに、社会のニーズに応えるソリューションを提供しながら、21世紀の夢をスピーディに実現します。

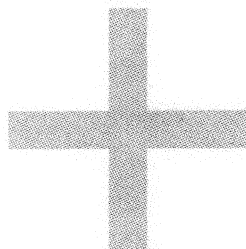
▲三菱化学株式会社  
Telephone:03-6414-3000  
URL:http://www.m-kagaku.co.jp

ShinEtsu

信越シリコーン

またひとつ、新機能。

[プラスアルファ]



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつものヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン

オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に  
\*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターベレットもあります。

■ シリコーン離型剤

オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。  
離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤

合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン

セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-5-28 近鉄新名古屋ビル  
名古屋支店 シリコーン部 (052)581-6515



## 雨水利用タンク

# ホームダム

RWT-250

### ご家庭で雨水の有効利用に!

異常気象からの水不足、あるいは集中豪雨…。水の大切さを見直す時が来ていると思います。自然のめぐみ雨水をもっと活かして使うことを考えましょう!!庭の草・花・木への水やり、洗車などまだまだたくさん活用出来ます。



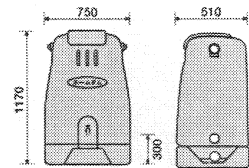
1 専用付属部品で簡単施工  
(丸型トイレ用 55%・60%・75%)

2 ドレン付で簡単清掃

3 架台付きです  
(別架台はオプション)

4 水道料金の節約  
(例) 某市で料金200円/㎡を納めているご家庭では、  
・ホームダム1杯(250ℓ)約50円  
・週に2杯溜めると約400円/月  
・年間では約4,800円  
が節約出来ます。

5 雨水タンク転倒防止用  
Uボルト金具付です



#### ■製品仕様

容量	250ℓ
質量	約22kg
材質	超高分子量ポリエチレン



## コダマ樹脂工業株式会社

本社 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4141 東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1-16-10(オークビル京橋) TEL(03)3564-5266  
 本社営業部  
 容器包材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4992 大阪支店 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番2号(新サンケイビル7階) TEL(06)6341-0015  
 産業資材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-5055